



平成18年10月27日

各位

会社名 焼津水産化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 坂井 和男
コード番号 2812 (東証1部)
問合せ先 取締役総務・人事部長 萩原 諭
TEL 054-202-6030
090-9191-9218
090-6766-2355

業績予想の修正に関するお知らせ

本年5月19日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間期および通期業績予想を下記の通り修正いたしました。

記

1. 平成18年9月中間期の業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(1) 連結

(単位: 百万円、%)

項目	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	9,200	680	390
今回修正予想(B)	9,250	469	281
増減額(B-A)	50	△211	△109
増減率(%)	0.5	△31.0	△27.9
前期(平成17年9月中間期)実績	7,906	646	70

(2) 単体

(単位: 百万円、%)

項目	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	8,000	680	390
今回修正予想(B)	8,007	467	279
増減額(B-A)	7	△213	△111
増減率(%)	0.1	△31.3	△28.5
前期(平成17年9月中間期)実績	7,835	641	64

2. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（１）連結

（単位：百万円、％）

項 目	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想（Ａ）	18,700	1,400	810
今 回 修 正 予 想（Ｂ）	18,700	1,005	590
増 減 額（Ｂ－Ａ）	0	△395	△220
増 減 率（％）	0.0	△28.2	△27.2
前期（平成 18 年 3 月期）実績	16,694	1,235	443

（２）単体

（単位：百万円、％）

項 目	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想（Ａ）	16,200	1,380	800
今 回 修 正 予 想（Ｂ）	16,200	990	580
増 減 額（Ｂ－Ａ）	0	△390	△220
増 減 率（％）	0.0	△28.3	△27.5
前期（平成 18 年 3 月期）実績	15,383	1,272	474

3. 修正の理由

当中間期の業績につきまして、売上高は当社の主力である調味料事業のうち粉体調味料が順調に推移したことを主因として、連結・単体とも前年同期比増収となり、当初予想を若干上回る見通しとなりました。

一方、利益面におきましては、調味料事業内の売上構成の変化と機能食品事業の素材製品（ファイン）売上高減少、医療栄養食事業の減価償却費負担増加などが加わり、採算が低下しました。また、経費面では原材料費の上昇、動力・燃料費、外注加工費の増加などにより、製造経費が増加いたしました。

この結果、経常利益は連結で 211 百万円減少し、469 百万円（当初予想比 31.0%減）、単体で 213 百万円減少し、467 百万円（同 31.3%減）となる見込であります。また、当中間純利益は連結で 109 百万円減少し、281 百万円（同 27.9%減）、単体で 111 百万円減少し、279 百万円（同 28.5%減）と当初予想を下回りますが、前年同期の減損処理がなくなり、前年同期比では当中間純利益は大幅に増加する見込です。

下期につきましては、営業力強化による拡販に加え、原料価格の改善、低採算製品の価格改定、全社的なコスト削減の徹底などにより利益の回復に努めてまいります。上期同様の厳しい収益環境が続くものと思われ、当初の通期予想を上表のとおり修正いたします。

以上

（注）上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。